

【令和6年度 第2回学校評価アンケート結果】

伊勢崎市立茂呂小学校

○児童アンケート結果（「よくできている」「だいたいできている」をあわせた割合）（回答：3年生以上の児童）

質問項目	割合	前回の比
1 授業の内容はだいたいわかり、授業に楽しく取り組んでいる	93%	±0
2 学習を進めるために、タブレットや電子黒板が役立っている	97%	+2
3 英語がわかり、授業に楽しく取り組んでいる	84%	-2
4 自分から進んで家庭学習（宿題や教科書の音読、読書を含む）に取り組んでいる	87%	+3
5 朝の読書や読み聞かせの時間は楽しい	91%	-4
6 自分から進んで「おはようございます」、「さようなら」などのあいさつをしている	90%	-4
7 地域の人や先生、友だちに対して、きちんとした言葉づかいで接している	93%	+1
8 自分から進んで、係活動や当番、委員会活動などを行っている	91%	-1
9 思いやりのある言葉遣いをして、差別や仲間はずれをしないで、仲よくすごしている	96%	+2
10 学校に行くのが楽しい	87%	-1
11 もし、いじめや仲間はずれがあったら先生・家の人・友だちに相談できる	88%	-2
12 友だちは、親切である	97%	+1
13 友だちに対して、親切にしている	98%	+2
14 学校のきまりや約束を守って生活している	95%	±0
15 「早寝、早起き、朝ごはん」ができています	81%	-6
16 休み時間などは、外で遊んだり運動したりしている	77%	+1
17 道を歩くときや自転車に乗るときは、交通ルールを守っている	98%	±0
18 学校での様子や行事のこと、自分の将来の夢や希望について、家の人と話し合っている	82%	-2

○保護者アンケート結果（「よくできている」「だいたいできている」をあわせた割合）（回答率：70%）

質問項目	割合	前回の比
1 学校は、学校だよりや学年通信、茂呂小ブログ、テトルなどを通して保護者への連絡をきめ細かく行っていると思いますか	94%	+3
2 相談事や必要なことは学校に連絡していますか	86%	+2
3 お子さんは、教科等の基礎基本を身に付けていると思いますか	82%	+2
4 学校での授業について、お子さんは「わかる」と言っていますか	82%	+2
5 学校は効果的にタブレットや電子黒板を活用し、学習を進めていると思いますか	89%	+1
6 英語の授業について、お子さんは「わかる」や「楽しい」と言っていますか	86%	+1
7 学校は、一人一人の学力向上に努めていると思いますか	84%	+1
8 ご家庭ではお子さんの家庭学習のサポートをしていると思いますか（宿題の確認・励まし等）	77%	-2
9 お子さんは、自分から進んで家庭学習（宿題や教科書の音読、読書を含む）に取り組んでいると思いますか	62%	-3
10 お子さんは、家庭内、学校、地域などで進んであいさつをしていると思いますか	74%	-3
11 お子さんは、家庭内、学校、地域などで時や場、相手に応じた適切な言動がとれていると思いますか	77%	-1
12 お子さんは、学校のきまりや約束を守っていると思いますか	92%	+1
13 お子さんは、相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある適切な言動がとれていると思いますか	87%	+1
14 学校は、いじめの発生防止に努め、いじめのない学級・学校づくりに努めていると思いますか	84%	+1
15 お子さんは、「早寝、早起き、朝ごはん」ができていますか	75%	-6
16 お子さんは、週3日以上、体を動かして、遊んだり、運動したりしていますか	71%	-6
17 学校は、災害や事故などに対する、児童の安全に努めていると思いますか	91%	±0
18 学校は、児童の健康面についての安全に努めていると思いますか	89%	-2
19 お子さんの学校での様子や行事のこと、お子さんの将来の夢や希望のことについて、ご家庭で話をすることがありますか	84%	±0
20 学校は保護者や地域の方と連携して、教育活動を行っていると思いますか	87%	±0

## ○結果の考察及び今後の努力点

### 1 確かな学力（自主的な家庭学習の充実）

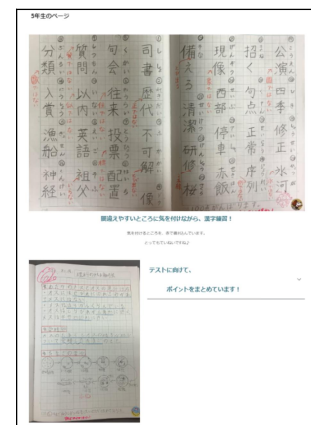
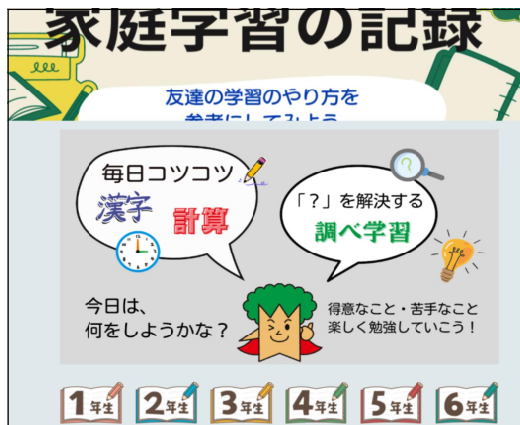
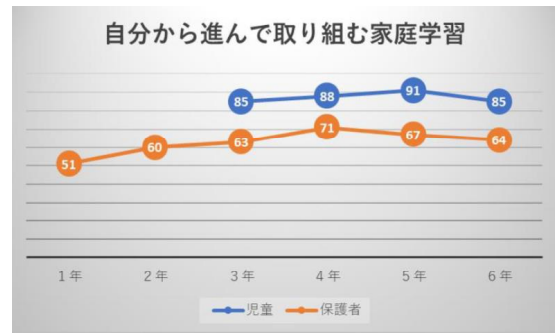
学校は日々毎時間の授業が生命線です。子供たちが「分かった」「なるほど」「もっとやりたい」と思えるような授業作りを、今後とも学校として取り組んでいきます。

家庭学習については、どの学年も、子供たちは自分から進んで取り組んでいるという回答が多いのですが、保護者の皆様から見ると不十分と映っているようです。我が子への期待のあらわれかもしれません。本校の子供たちの家庭学習時間については、全国学力学習状況調査では全国・群馬県と比べると少なく、しかも年々減少しているという結果が出ています。一方、低学年から中・高学年の保護者の回答は上昇しているため、家庭学習習慣は身に付いてきているとも言えます（右上）。

これからは「自分で計画を立てて取り組む家庭学習」が必要です。小学校のうちに毎日決まった時間・場所で、課題＋αの家庭学習に自分から取り組む習慣を身に付けることが、中学・高校での学習につなげる上で極めて大切なことです。引き続き、チャレンジノートの取組を学年に応じて充実していきます。ご家庭でも声かけやアドバイスをお願いします。

なお、2学期に友達のチャレンジノートを紹介するサイトをネットワーク内に立ち上げ、子供たちが自分のiPadで全学年の事例を見て、参考にすることができるようになっています。

（グラフ中の数字は「よくできている」「だいたいできている」を合わせた肯定的な回答の割合）



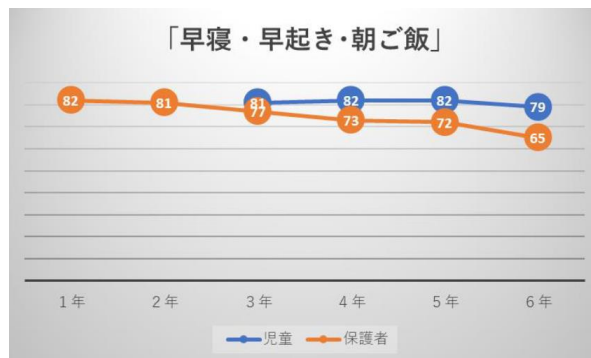
### 2 豊かな心・健康体力（あいさつ、適度な運動をする習慣等の基本的な生活習慣）

温かな人間関係づくり、規範意識はおおむね身に付いていると言えますが、あいさつや時と場に応じた言動、適切な運動量の確保については、前回同様課題としてとらえ、ご家庭と連携しながら指導を継続してまいります。

（グラフ中の数字は「よくできている」「だいたいできている」を合わせた肯定的な回答の割合）



また、「早寝・早起き・朝ご飯」については、前回から子供たち・保護者の回答状況が下がっています。



「よい習慣は、よい成果を生む」と言います。「時を守り、場を清め、礼を正す」という基本的な生活習慣を義務教育段階でしっかりと身に付けることは、社会に出てからも必ず生きてきます。「あいさつ」については、学年が上がるにつれて、子供たちの回答状況も保護者の回答状況もよい方向に向かっていますが、学校内だけでなく、登下校中の交通指導員さんやPTAの旗振りの皆さんへの明るいあいさつなど、地域においても進んで大人にあいさつできるようになってほしいと思います。

子供たちの成長のために全教職員で粘り強く取り組んでいきますので、保護者の皆様には学校課題解決に向けてのご協力と子供たちへの指導をよろしく申し上げます。